



生駒山から吹き抜ける風が肌に心地よく感じられる季節になりました。新年度から1ヶ月が過ぎ、新しい環境に少し慣れてきました。引き続き、体調管理に気を付けて規則正しい生活を送りましょう。

★^{けが}怪我について★

～傷口に対する新しい考え方～

従来、傷ができたときには、ご家庭で毎日消毒をして傷口を乾燥させ、かさぶたができるのを待っていた方は多いと思います。最近では、消毒液はむしろ傷口の治りを悪くさせるので不要であり、水道水で十分洗い流して乾燥させない方がきれいに治るという考え方もあります。傷口の処置に対する考え方は変化しています。

～どんな傷でしょうか？～

傷口の状態をよく観察することが重要です。出血が続いているか、傷は比較的きれいなのか、傷口に異物が混入しているか等を確認するとともに、しびれの有無、他にも傷や打撲の痕等ないか、全身を念入りにチェックしましょう。感染予防のため、血液は直接触れないように気を付けましょう。今回は、当園でよくある怪我【すり傷、切り傷、打撲】の3つを取り上げます。

《 すり傷 :すりむいた傷 》

処置での留意点

- ◎ 消毒液は使わずに、石けんでよく泡立てて優しくこすり、水道水でよく洗い流しましょう。
- ◎ ばんそうこうや滅菌ガーゼで傷口を保護し、乾かさないようにしましょう。
- ◎ 1日1回は保護している物をはがして傷口を洗い、皮ふを清潔にしましょう。水に濡らしながらはがすと痛みが軽減されます。
- ★ 最近では、外部の刺激から傷口を保護しつつ、適度な湿潤環境を維持することができる新しいタイプの被覆材(ケアリーブ、キズパワーパッド等)が市販されています。

(医療機関への受診のめやす)

- ・傷が開いている ・傷口に砂や泥が残っている ・数日経っても膿んでいる 等

《 切り傷 :はさみや紙のへり等で切れた傷 》

処置での留意点

- ◎ 多量に出血がある場合は、タオルや滅菌ガーゼ等で押さえて止血します。
- ◎ 出血が止まったら必要時、水道水で傷口を洗い流しましょう。
- ◎ ばんそうこうや滅菌ガーゼ等で保護します。

(医療機関へ受診のめやす)

- ・深い傷 ・出血が止まらない ・傷口や周辺がジンジンしびれる
- ・数日経っても膿んでいる ・傷周辺の赤みがある 等



《 打撲 : 転倒や物にぶつけて皮ふが強い力で圧迫された傷 》

- ◎ 傷口から出血していない場合は、ビニール袋に氷と少量の水を入れ、タオルにくるみ、冷やしましょう。たんこぶ等の腫れや痛みが軽減します。
- ◎ 傷口から出血している場合は、血液に触れないように注意して傷口をタオルや滅菌ガーゼ等を当て、手のひらで押さえて止血します。
- ◎ 砂利等付いていて傷口が汚れている場合は、余裕があれば水で洗い流しましょう。

(医療機関へ受診のめやす)

- ・頭や顔面(首から上の部分)を強く打ちつけた ・出血がある
- ・出血していなくても顔色が悪い ・吐き気がある ・嘔吐をした
- ・腫れている ・時間が経っても痛みがあり、我慢できない 等
- 頭をぶつけたときは、最低でも24時間は体調の変化がないか様子を見てあげてください。
- ぶつけた場所が骨折している可能性もあります。腫れや痛み、動き等、気になる場合は受診することをお勧めします。

※日本創傷外科学会ホームページより抜粋

* 出血時

の止血方法 *



咽頭結膜熱 (プール熱) について



- ◎ 主な症状・・・咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)・結膜炎(充血、痛み、涙、目やに)・発熱
- ◎ 潜伏期間・・・2～14日
- ◎ 感染経路・・・接触感染・飛沫感染
- ◎ 予防策・・・手洗い・うがい・咳エチケット
- ◎ 病原体・・・アデノウイルス2型・3型・4型・7型・11型 等

- ・脱水を防ぐための水分補給は大切です。喉に痛みがある時は、喉越しのよい飲むゼリーが飲みやすいです。経口補水液は体内に吸収しやすいのでお勧めです。
- ・登園基準は、症状が消えてから2日を経過し、医師の許可がでたら登園可能となります。

保健からのお知らせ

5月

・身体計測(全園児)

～保健より～

日差しが徐々に強くなってきました。園庭で遊ぶと汗をかくことが増えてきます。肌着や薄手のシャツの着替えをご用意ください。よろしく願います。

